

第11回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時

平成20年4月11日(金)
17:15~18:15

場所

琉球大学法文学部新棟215教室

話題：「外界志向の勧め—琉大生よ大志を抱け」

発表者：仲村 巖（日産ディーゼル相談役、前社長）

沖縄出身の先輩として沖縄の現状、将来に思いをはせたとき、沖縄の学生の内向き志向、モラトリウム傾向に危惧を抱いている。観光と人的資源以外には資源に乏しい県であるから人材力の開発が重要である。一方、人の能力は職業生活、社会生活の中でその大部分が開発されるものである。教育機関の役割は限られており、そのための基礎と準備をするだけに過ぎないと思われる。生まれ持った潜在能力が未開発のまま朽ち果てる人生ではなんとも悔しいものだ。最善の選択は、競争は厳しくとも、広く全国、あるいは、グローバルに活躍でき自分自身を磨ける職業にチャレンジすることではないだろうか。琉球大学の学生が率先して内向き志向を打ち破りチャレンジ精神を発揮できれば沖縄の将来は明るい。

発表者 プロフィール



仲村 巖
(日産ディーゼル相談役、前社長)

略歴

昭和17年7月28日	沖縄県で出生
昭和41年3月	東京大学工学部航空学科卒業
昭和41年4月	日産自動車株式会社入社
平成元年1月	同社駆動設計部長
平成6年7月	同社車両技術開発本部ボデー開発統括部長
平成7年6月	同社取締役
平成12年4月	同社常務
平成14年4月	日産ディーゼル工業株式会社顧問
平成14年6月	同社代表取締役社長
平成19年6月	同社相談役 就任 現在に至る

以上



●今後のフォーラム（予定）●

第12回 講 師：赤嶺 守（琉球大学 法文学部 教授）
 話 題：沖縄における中国食文化の受容と変容
 －食文化からみる中琉関係史－

日 時：2008年4月25日（金） 17：15～18：15

第13回 講 師：南郷 辰洋（沖縄県情報産業協会 会長）
 話 題：沖縄の情報産業の現状と将来展望－必要とされる人材（仮題）

日 時：2008年5月9日（金） 17：15～18：15

第14回 講 師：石嶺 伝一郎（沖縄電力株式会社 社長）
 話 題：企業の求める人材と沖電のベンチャー起業（仮題）

日 時：2008年5月30日（金） 17：15～18：15

※なお、学外来訪者をお願いして臨時フォーラムを開催することがあります。

建物配置図



法文学部新棟2階

